

体罰をみんなで考えるネットワーク 夏のつどい 2016

「体罰をみんなで考えるネットワーク」では、これまでさまざまな観点から、スポーツ界における体罰の現状について考えてきました。

今年の「夏のつどい」は、体罰の現状をより深く理解するためにも、体罰をめぐる歴史——いつから、なぜ体罰が行われるようになってきたのか、それに対してこれまでどのような取り組みがなされてきたのか——の一端を学ぶ機会にしたいと思います。

第1部では、「健康、体育、レクリエーション、ダンスのためのアメリカ連盟(略称AAHPERD)」が1979年に発行した冊子『子どものスポーツのためのガイドライン』に収録されている「若いアスリートのための権利の章典」を取り上げ、その現代的意義を探ります。

第2部では、日本の高校・大学野球における体罰の歴史を学ぶことを通して、スポーツと体罰の結びつきについて考察を深めます。

2016年7月31日(日)

龍谷大学大阪梅田キャンパス研修室

(大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階)

第1部 11:30～13:00 (受付11:10～)

学習会 「若いアスリートのための権利の章典」を読む

話題提供 田村 公江さん(龍谷大学教授:倫理学)

第2部 14:30～17:00 (受付14:10～)

講演 スポーツと体罰の関係史 ～高校・大学野球を中心に～

講師 中村 哲也さん(高知大学准教授:スポーツ社会学)

参加形態	会員・学生	一般(非会員)
第1部または第2部	500円	1000円
フル参加	800円	1500円

※1 昼食を本会場でお召し上がりになることができます。

※2 終了後、会場近辺にて懇親会を予定しています。

(懇親会参加費は別途必要になります)

【申込方法】

FAXまたはメールにて、①お名前、②ご所属、③ご連絡先、④参加形態(第1部のみ/第2部のみ/フル参加)、⑤懇親会参加の有無、をお知らせ下さい。

◎FAX : 0798-57-4122 (CAPセンター・JAPAN)

◎E-mail : taibatsu2015network@gmail.com



【会場アクセス】

- ◎ JR「大阪」駅桜橋出口 徒歩4分
- ◎ 地下鉄四つ橋線「西梅田」駅3番出口すぐ
- ◎ 阪神「梅田」駅 徒歩すぐ

主催 体罰をみんなで考えるネットワーク

子どもへの「体罰」をめぐる、さまざまな“なぜ?”について、さまざまな立場の人々が集い、共に考え、おとなと子どもの「いい関係」づくりを目指す、ゆるやかなネットワークです。